

平成 29 年 7 月 4 日
独立行政法人福祉医療機構
経営サポートセンター長 景山 高好
経営サポートセンター リサーチグループ
グループリーダー 佐野 伸
担当：関・守川（電話）03-3438-9932
（FAX）03-3438-0371

社会福祉法人経営動向調査の結果について

当機構では、四半期毎に社会福祉法人経営動向調査を実施しています。今回は平成 29 年 6 月に実施した本調査の結果についてご報告します。

結果の詳細は、ホームページ (<http://hp.wam.go.jp/guide/keiei/report/tabid/2274/Default.aspx>) に掲載しております。

1. 本調査の概要

- 対象：特別養護老人ホームを運営する社会福祉法人 482 法人
- 調査事項：社会福祉法人および特別養護老人ホームの業況、資金繰り、従事者数等に関する現在の状況と 3 ヶ月後の先行き予測、新卒・中途者採用状況および翌年度の採用計画
- 回答数：468
- 有効回答数：468
- 有効回答率：97.1%
- 実施期間：平成 29 年 6 月 1 日（木）～平成 29 年 6 月 23 日（金）
- 実施方法：Web 上で実施

2. 本調査の結果

【新卒・中途者の採用状況】

- 平成 28 年度の平均新卒採用数は、大規模法人で 10.6 人、中規模法人で 3.8 人、小規模法人で 3.8 人だった
- 新卒者の採用で効果が感じられる採用活動は、「ハローワーク」が 51.9%と最も多く、次いで「実習・インターン受け入れ」(33.5%)、「福祉分野を対象とした合同就職説明会」(31.0%)の順となった
- 一方で、採用活動のうち「効果が感じられるものはない」と回答した割合は、大規模法人で 8.7%、中規模法人で 12.5%、小規模法人で 15.2%だった

【社会福祉法人の動向】

- 業況は前回より上昇し、プラスに転じた
- サービス活動収益およびサービス活動増減差額は前回より上昇した
- 黒字・赤字の状況では、前回と比較して横ばいとなった
- 資金繰りおよび従事者数は前回より上昇した
- いずれの項目も見通しの数値は低下した

【特別養護老人ホームの動向】

- サービス活動収益およびサービス活動増減差額は前回より上昇した
- 黒字・赤字の状況では、前回より黒字割合が上昇した
- 施設全体の従業員数および介護職員の確保は前回より上昇した
- 稼働率は 3 期連続で低下がみられたが、上昇した
- 待機者は 3 期連続で減少した
- いずれの項目も見通しの数値は低下した